

令和6年羽島市長選挙 立候補者アンケート

川瀬 淳一 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、羽島市のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

きめ細かく市民のニーズに応えながら、自由意志による自発的な活動を行える市民活動やNPOには、行政の手の届かない分野での活発な活動を期待します。例えば、災害時や緊急時の生活支援、子ども食堂などの子育てや特別な支援を必要とする児童への教育といった分野では、公共サービスと住み分けおよび補完し、行政と連携することで、双方がより効果的な活動を行うことができます。また、限られた資金を効果的かつ効率的に活用・執行できるよう、財務・会計やマーケティング・広報・ITといった企業や組織経営、事業管理分野での研修を行うことで、NPOを担う人材の層を厚くし、組織の能力を高めることも効果的だと考えます。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

羽島市では、市民活動団体の登録団体募集と団体紹介などをNPO等への活動支援施策として行っております。岐阜県内自治体では、市民活動団体を主な対象としてまちづくり活動への助成などが行われている所があります。羽島市では、NPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

やはりメンバーの善意や寄付、ボランティアの皆様の力で成り立っている慈善活動やNPO活動には、行政からの支援策がどうしても必要ですし、現場で求められる、かつ社会的に意義のある活動には、十分な予算を配分して、補助や助成などによって資金的な支援を行うことは最重要だと考えます。資金的支援以外にも、施設や物品の無償貸与、活動に関する情報発信のサポート(市のウェブサイトやSNS等のオンラインツールや広報チャンネルをNPOや市民団体に解放して、無料で広報や告知、周知等に使っていただく)、研修やネットワーキングの場の提供等、工夫次第でより効果的に市民活動をサポートできると考えます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「羽島市みらい共創プラン 基本構想(案)」では、「持続可能なまちづくりを支える考え方 (1)多様な主体との協働・共創」において、NPO活動などを支援し、協働・共創によるまちづくりの推進が書かれています。今後も羽島市とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するために考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

効果的な NPO と行政間の協働関係を築くことにより、補完による相乗効果（シナジー）が期待でき、より高い成果を上げられるようになります。そのためにはまず、既存の支援制度の上限額や件数を拡充し、特に高い成果が出ている事業へは予算措置を手厚くするべきです。同時に人材育成や研修による職員の能力向上も支援します。また、NPO 職員および市役所職員の双方が手続きに繁忙されないよう、審査にかかる書類や手続きはできるだけ簡素化かつデジタル化して、使いやすい制度設計にします。また、毎年の申請書類作成の手間を防ぐため、成果が出ている活動や団体には2—3年といった複数年度に亘る事業承認と執行を行えるよう制度を改善して参ります。

ご協力ありがとうございました。